

「まごころ通信」

事務局（書記） 新井国彦

〒370-0042 高崎市貝沢町 4 4 7

TEL 027-361-9731

第 64 回「まごころ塾」は、11 月 16 日（水）午後 7 時～高崎市東部公民館の図書室で行いました。

今回は、JICA（国際協力機構）のシニア・ボランティアとして 2 年余りをブラジルで女子ソフトボールの指導をされてきた元中学校教師の石井康彦さんのお話でした。「厳しさの中にも和を大切に」を演題に、向こうでの生活や指導の様子をたくさんの写真を映写しながら、楽しそうに説明してくださいました。

参加者 18 人は、石井さんのお話し振りから厳しさと言うより「和の中にも和を大切に」を感じて聴かせていただいたように思います。



▲現役教師のときと変わらぬ笑顔と

トレーナーに襟立てのシャツ。

「65 歳に昨日なった…」と。

プロフィール⇒

石井さんは、JICA の日系シニア・ボランティアとして 2009 年 7 月から 2011 年 6 月までブラジル・サンパウロ州マリリア市に派遣されていました。マリリア日系クラブの女子ソフトボール部に所属する 7 歳から 16 歳の女子に対し基本技術を指導し、大会に備える実践力を身につけさせ、監督・コーチに対しては基本的指導技術・適切な練習方法や選手とのかかわりを指導してきました。

石井さんは教職にあった時代、群馬教員ソフトボールチームでも活躍され、このまごころ塾生の中にもともにプレーした仲間もいます。

//////// JICA に行くまで

昭和 44 年、東京に就職が内定していたのに、新潟の友達が群馬の教員採用試験を受けるといので、案内がてら一緒に受けたところ合格してしまいました。南八幡中が初任校で、その後、甘楽三中、第八中、寺尾中と勤め、55 歳で退職し、南米コロンビアの弟の経営する日本食レストランで働くことにして向こうに渡りました。6 ヶ月で日本に戻り臨時教員として藤岡西中、青少年センター、わかば教員として群馬南中などに勤めました。

人の勧めで JICA を知り、シニア指導者として受験してみることにしました。

//////// JICA の試験のことなど

シニア指導者枠というのは、40 歳～69 歳で、私の場合、ソフトボール指導者として

の受験です。1次審査を通り、2次審査に進むと、とても有名なソフトボール指導者が一緒に受けていることがわかりました。こりゃダメだなと半ばあきらめの気分で、試験管の「今回不合格になったらまた受けますか？」の問いに、「あの方が行かれば、2年はチャンスが巡ってこないのであきらめます」と応えたそうです。でも、結果は自分が通っていたのです。

一方、審査でもっとも心配だったのが、健康診断の結果をどう評価されるかでした。JICAの派遣には「健康」が重視されます。審査時はまあ何とか認められたものの、現地でも体調を整えることと、定期的な健康診断には気を使いました。検診の数値が悪ければ帰国させられてしまうので、危ないことが何度かありました。

////////子どもたちへの指導と生活



▲年少チームの子たちの指導。石井さんの優しさが伝わってきます。

私の指導場面は、監督、コーチがいて、技術指導を私がやりました。監督は温厚なのですが、コーチは〇〇中の鬼コーチのようです。子どもたちはコーチがいると怖いので動きはいいのですが、監督や私だけだとだらっとしてきてしまいます。

ただ、技術指導は、自分の長年の経験と群馬教員で教わったことがたくさんあるので、いろいろできました。スポーツは、結果と評価がすぐに出ます。幸い私が教えたことを試合でやると、大差で勝ったり大会で優勝したりするので、子どもたちはよく教えを身につけようとしてくれ、かわいらしいものでした。

私は、ポルトガル語はちっとも覚えませんでした。子どもたちのほうで日本語を

覚えて、そういう場面になると「MOU IKKAI！」なんて言うのでした。

自炊でしたので、たくさんの料理に挑戦しました（映写で自作料理をたくさん見せてくださいました）。JICAの他分野の指導者との交流も折々にでき、楽しい日々でした。

////////JICAにまた挑戦中！

現在もJICAに2度目の応募中です。向こうの人に気に入られて、JICAで受からなかったらお金を出してやるから指導者で来てほしいと言われていました。自分が選手としてもできるので、ありがたがられています。日系人は、日本や日本人のことが大好きです。そうした人たちといると、日本人であることを誇りに思います。

お知らせ

第65回「まごころ塾」

日時：平成24年1月18日（水）午後7：00～9：00

場所：高崎市東部公民館

内容：未定。後日改めてご連絡いたします。